

建築の創作にみられる動きのイメージ

—現代建築の作品解説による分析—

動き 言説 現代建築 建築家 人間 空間概念

正会員 ○岩田敏孝*
同 山田深**
同 佐々木夕介*
同 丸山友士*

1. 序 建築は人間との関わりがあってこそ価値のあるものとなる。そして、人間が建築を活用しようとするとき建築空間に動きが生じる。この動きにより、人間と空間との関係が絶えず変化し、関わりがさらに豊かなものになると言える。このことから、建築家がこのような空間的な人間の動きをイメージして設計行為を行うことは不可欠であると考えられる。その人間の動きのイメージは、建築に関わるさまざまな空間に広がっているものと言える。そこで本論では、建築家のイメージした動きという観点から、建築の創作において建築家がどのような人間の動きを建築空間と絡めてイメージしているのかを建築家の言説から分析し明らかにすることを目的とする。

2. 分析方法 資料として建築家による「作品解説」を扱う(表6・註1)。各「作品解説」において、建築家が空間的な人間の動きをイメージしたことが明確な箇所を<動き>として抽出した(註2)。表1に示す例では、「自然光溢れる4層吹抜けの前室」を通して「展示室」へ「アプローチする」という<動き>を抽出できる。そしてこの<動き>を、「自然光溢れる4層吹抜けの前室」及び「展示室」という具体的な動きがイメージされる空間を構成する要素である【空間要素】と、人間のどのような動きをイメージしているのかという【パターン】に分ける。さらに【パターン】を、「アプローチする」という人間の具体的な動き方のイメージである[型]と、「前室」と「展示室」の空間が2つに分離した関係が存在しているという、動き方の土台となる領域的な概念である[領域]に分けて定義し、<動き>を【空間要素】と[型]と[領域]の3つの側面から捉え分析を行う。

3. 【空間要素】 抽出した【空間要素】を分類・整理すると[場][方向][性質][部位・もの]という4つの大枠で捉えられ、さらに[場]は「内部」「外部」「敷地外」「レベル」に分類された(表2)。これより、建築家は[場]が作る空間を<動き>の空間として考えていることが多く、そのうち「内部」と「外部」で半分を占めていることがわかる。また、少ないながらも敷地の外にまで建築家の思考が及んでいることがわかる。

4. 【パターン】 【パターン】は、[型]と[領域]に分けられ、まず[型]については、KJ法的に分類すると、<動き>に方向性をもつような《定型》と方向性が定まっていない《不定型》の2つの大枠で分類ができ、さらに《定型》は<進行><相互>などの9つに、《不定型》は<移動><散策>などの4つに分類できた(図1・表3)。これにより、建築家が想定する[型]は《定型》が多く、そのうち<進行>が多いことが読みとれる。

次に、[領域]は数とその関わり方から、単一の領域のものや3つ以上に分離しているものなど、5つのカテゴリーに分類された(表3)。

そして、[型]と[領域]の対応関係をみてみる(表4)。これにより、ある[型]をイメージしたときに結びつきやすい[領域]は、単一の領域のものや3つ以上に分離しているもののどちらかであることがわかる。また、建築家が《不定型》の[型]をイメージするときは、単一の領域でイメージされやすいことがわかる。また、表中の太線で囲んだ箇所(A~F)は、この表のサンプル集中部分であり、建築家によってよく語られている【パターン】であると言える。

表1 抽出例

<動き>のサンプル
作品No.61 兵庫県立美術館/安藤忠雄建築研究所
・回廊とコンクリート壁によって隔てられる展示空間へは、自然光溢れる4層吹抜けの前室を経てアプローチする (61-1)

アタソメ図 X: 自然光溢れる4層吹抜けの前室 Y: 展示空間

「展示空間」と「自然光溢れる4層吹抜けの前室」という、具体的な動きをイメージした空間を構成する要素
X: 自然光溢れる4層吹抜けの前室 / 内部 + (性質)
Y: 展示空間 / 内部

「アプローチする」という、具体的な人間の動き方 (進行)

「展示空間」と「自然光溢れる4層吹抜けの前室」が構成する2つの空間が、2つに分離した関係で存在しているという動き方の土台となる空間の領域的な概念 (二分離)

表2 【空間要素】の分類

場		方向	性質	部位・もの	計
内部	外部	敷地外	レベル		
90 (28)	84 (26)	17 (5)	40 (13)	14 (4)	48 (15)
					27 (8)
					320 (100)

表2註) 数字は該当するパターンの数、()内の数字は割合をパーセントで示す。

図1 【型】の関係図

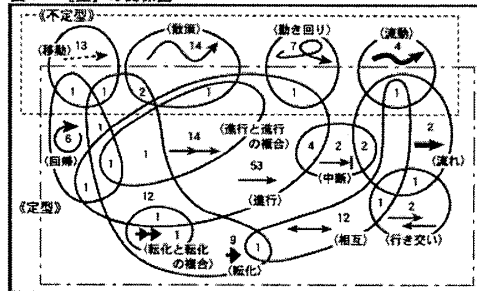


図1註) 図中の数字は枠内に含まれるパターンの数を示す。

表3 【型】と【領域】の分類

型	定型					不定型					計			
	進行の適合	転化の適合	相互	行き交い	中断	回帰	流れ	移動	散策	動き回り		流動		
→	→	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			
	73	17	28	2	15	4	8	10	6	15	16	8	5	207

領域	単					複					計
	二分離	多分離	連続	主従		二分離	多分離	連続	主従		
	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
	76	42	54	13	14						199

表3註) 数字は該当するパターンの数を示す。合計が977/総数172より多いのは【型】と【領域】共に複数のカテゴリが含まれているものを含むため。

表4 【型】と【領域】の対応

型	領域	単					複				
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
定型	進行	16	16	19	3	8					
	進行の適合	6	3	10							
	転化	7	3								
	転化の適合			1							
	相互	4	4	6							
	行き交い	2									
不定型	移動	9	1	2	5						
	散策	14	3	2		1					
	動き回り	6		1	1	1					
	流動	3	1								
	流動	3	1								

表4註) ここでは【型】が適合していないもののみを扱っている。但し、【領域】が適合している場合は、それぞれひとつの【領域】と載せている。

5. 【パタン】と【空間要素】の対応 【パタン】の集中部分と【空間要素】の重ね合わせにより、<動き>を現した。【パタン】A~Fそれぞれにおける【空間要素】の割合と、全体における【空間要素】の割合を示し、それらを比較し考察を行う(表5)。

まず、AとBは建築家に多く語られている【パタン】でありながら、全体における【空間要素】の割合と比較すると差が小さく、【空間要素】に特別な傾向はみられないと言える。また、「アトリエ」「テラス」などの‘内部’と‘外部’の空間を同時に語ったサンプルが共に多く、AとBに共通する分離した領域を進むという【パタン】においては、内外にまたがる動きをイメージしやすいといえる。

AとBが分離した領域であるのに対して、Cは、ひとつの領域を進むという【パタン】である。ここでは、「その壁の間を歩く」という言説にみられるような〔部位・もの〕が作る空間で動きがイメージされやすいこと、また‘内部’の空間について語ったものが少ないこと、さらに、暗い空間などといった〔性質〕をとまなう空間について語ったものは無いという傾向を見ることができた。

そのようなCに対し、D、E、Fにおいては、〔場〕に割合が大きいものが現れている。まず、Dは、ひとつの空間において転々と進んでいく【パタン】で、‘内部’または‘外部’の【空間要素】に集中しており、特に‘外部’で動きをイメージしたものが多く。

Eは、3つ以上に分離した領域を断続的に進むことがイメージされた【パタン】で、同じ〔領域〕を断続的に進むAと比較すると‘レベル’の【空間要素】の割合が大きいことから、<動き>の空間を立体的に思考する傾向があると考えられる。また、外部における動きのイメージは少なくなる。

Fについては、「遊歩道」などの‘敷地外’の割合が他の<動き>よりも大きいことから、敷地外でイメージされやすい【パタン】であると言える。また、Eと同様に外部の空間において動きをイメージしたものは少ないことがわかる。

以上のように、【パタン】と【空間要素】との関係を見ると、‘内部’と‘外部’の【空間要素】との結びつきが強いながらもA~Fについて、それぞれの特徴をみることができた。

6. むすび 以上、本論では、建築の創作にみられる<動き>を「作品解説」より抽出し、これを、【空間要素】と【型】と【領域】の3つの側面から分析を行い、それらを重ね合わせることで、建築の創作にみられる動きのイメージの一端を明らかにすることができた。

- 註
 1) ここでは、現代建築の一般的な建築誌のひとつである「新建築」に掲載された「作品解説」を資料として扱った。範囲としては2001年1月号から2003年12月号までの3年間を対象としている。
 2) 全120の「作品解説」から合計172の<動き>をサンプルとして抽出した。

表5 【パタン】と【空間要素】の対応

パタン	型領域	空間要素	場				方向	性質	部位・もの	計 (%)
			内部	外部	敷地外	レベル				
A	進行 多分離		26	28	6	14	8	10	8	100
B	進行 二分離		26	32	3	15	3	18	3	100
C	進行 単		14	32	9	18	9	0	18	100
D	散策 単		31	38	0	8	0	8	15	100
E	進行の複合 多分離		30	13	4	26	9	13	4	100
F	移動 単		29	7	14	7	7	21	14	100
全体における空間要素の割合			28	26	5	13	4	15	8	100

表5註) 表中の数字は割合をパーセントで示し、全体における空間要素の割合より大きいことが顕著なものを濃いグレー、小さいことが顕著なものを薄いグレーで示す。

* 室蘭工業大学大学院
 ** 室蘭工業大学建設システム工学科講師

* Graduate school, Muroran Institute of Technology
 ** Lecturer, Dept. of Civil Engineering and Architecture, Faculty of Engineering, Muroran Institute of Technology

表6 資料リスト

作品ID	作品名
1	0101 国見町生涯学習センター みんなんかん
2	福井県立恐竜博物館
3	中心性/無機
4	北條村役場庁舎
5	0102 T-N-HOUSE
6	嵐城セントラル
7	0103 せんだいでメディアアーク
8	ZIG HOUSE/ZAG HOUSE
9	茨城県陶芸美術館
10	新風館 SHIN-PUH-KAN
11	0104 兵庫文学館蔵科学部
12	川口文芸会館
13	月見の里学館
14	神戸大学百年記念館
15	0105 東京大学生産技術研究所・B棟~F棟
16	富城県立追分高等学校
17	福岡市立博多小学校・奈良屋公民館
18	印西消防署の原分署
19	0106 ナチュラールミナナス
20	0107 東京立図書館
21	福島県男女共立センター
22	光の学校 福島県立郡山商業学校
23	0108 牛久のギョウリ
24	山梨県立富士湖水の里水族館
25	日蓮宗法華堂教区 江東メモリアル
26	0109 平等院宝物館 鳳翔館
27	栃木県ながわ水遊園 おもしろ鳥籠
28	キリン
29	0110 まこと幼稚園
30	ハマユウ柱 うふあがり島
31	0111 大阪府立狭山池博物館
32	0112 上海新天地
33	早川町立早川小学校
34	早稲田実業学校
35	新島町立立上小学校
36	0201 群馬県立群馬美術館
37	群馬県・茶室
38	下関市地方卸売市場南戸市場
39	0202 東京ワンダーサイト
40	CHARIN
41	小倉リハビリテーション病院
42	UNDERCOVER LAB
43	VOID+M+P
44	0203 南進英理会館
45	0204 タオレイクヴィラ
46	0205 鶴岡工業高校機械科実習棟
47	クリニック/ハウスN
48	野毛山動物園ふれあいコーナー・休憩所
49	桜新町の集合住宅
50	三島の集合住宅
51	0206 大野のバス・ミナル
52	0207 朝風運太郎記念館
53	THE GATE
54	グループホームあおぞら・ふよう病院増築
55	0208 松本市美術館
56	西谷町保健福祉センター「ふれあい館」
57	ボウ美術館
58	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
59	鹿北アート・プロジェクト
60	とぎつかりーホール
61	0209 兵庫県立美術館
62	ILMA
63	氷路町ビル
64	パブリックギャラリー
65	0210 オアシス彫刻庭園美術館
66	日本大学理工学部テニスコート プレース15
67	0211 国立国会図書館関西館
68	セラミックパークMINO
69	ちひろ美術館・東京
70	オアシス21
71	La Chiera 表参道インテリア float-f
72	0212 横浜市北區南郷
73	エンゼル病院
74	0301 白雲の診療所
75	済仁保育園 森の倉
76	0302 きよみずコンプレックス
77	土佐山田の倉(改修・増設)
78	みづき坂のアトリエ
79	名古屋クロイツ・スクエア
80	いのちのつばき博物館
81	0303 新潟県立博物館
82	内海清美漢字博物館
83	あづま全グループホーム&デイサービスセンター
84	0304 河田町コンフォートセンターC棟・インフィニ
85	0305 和歌の浦アート・キューブ
86	豊島学院高校・昭和鉄道高校4号館
87	コウチー マーケット
88	0306 PFC 徳島林大学フリースポーツ部野辺キャンパス
89	0307 筑紫の丘香湯(R7/C)
90	ナガサキサービスミュージアム
91	リバーウォーク北九州
92	古々比の瀧 奥社の茶屋
93	南郷江COQUE
94	0308 新築
95	赤鷲メッセ 新潟コンベンションセンター
96	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
97	緑後松之山「森の学校」キヨロロ
98	まつだい富田農林文化村センター
99	ソニーショールーム&クオリア東京
100	0309 プラダ プティック青山店
101	学校法人鶴学園 なぎさ公園小学校
102	ヨーガンレール丸の内店
103	東雲キャナルコートCODAN 1街区・2街区
104	東雲キャナルコートCODAN 1街区・2街区
105	二軒家アパートメント
106	0310 ルイ・ヴィトン六本木ホテルズ店
107	二階倶楽部美術館
108	森の小径と滝沢インフォメーションセンター
109	分室メディアアット
110	広州国際会議場展示中心
111	ルンビニ幼稚園
112	コート向ヶ丘
113	0311 石川県西尾多郎多郎記念館
114	IL TEMPO
115	Kozuru Studio+こいざみ道具店
116	0312 ビックウェーブやまぐち
117	なんばパークス(1期)
118	SILHOUETTE
119	ロータスアパートメント
120	相田みつを美術館